

気仙沼市の取組紹介

気仙沼市版アプローチカリキュラム
気仙沼市 架け橋期のカリキュラム（モデル）
気仙沼市面瀬小学校 幼・保・小連携

P41
P42
P43

Q1 保幼小接続期カリキュラムの活用についていつから取り組んでいますか？

平成30年度に市内の公立・私立の幼児教育・保育施設が協力して「気仙沼市版アプローチカリキュラム」を作成しました。各施設では、それぞれの施設に合わせて自園化して活用し、小学校でもアプローチカリキュラムからつながる形でのスタートカリキュラムを作成して活用してきました。

令和7年度には「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」を合わせた「架け橋期のカリキュラム（モデル）」を作成し、令和8年度から実践していきます。



Q2 誰がどのようにして「架け橋期のカリキュラム（モデル）」を作ったのですか？

「架け橋期カリキュラム開発会議」を立ち上げ、保育士、教員、架け橋コーディネーター、事務局（教育委員会、子ども家庭課）で作成しました。カリキュラムを作成するにあたり、気仙沼市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校から架け橋期を意識した保育や授業についての情報を提供していただき、カリキュラムの作成に活かしました。

Q3 作成に当たってどんなところを工夫しましたか？

架け橋期のカリキュラム作成では、子どもの学びの連続性を一目で見てイメージできるよう、文字を少なくし写真を使用しました。幼児教育施設の遊びを通じた学びから小学校教育の学びへとつながる中で、二段階ではなく重なりあう部分を互いに大切にすることが重要と考え、3枚の写真で学びの連続性を表しています。

Q4 どのように今後の取組を進めていきますか？

令和8年度より学校区ごとに架け橋期カリキュラムモデルを活用し、実践を行います。幼児教育施設と小学校が協働して架け橋期のカリキュラム実践シートを作成することで、相互理解が進むことを目指します。そのような相互理解の深まりが子どもの育ちや学びをつなぐ保育や授業展開の重要な視点となると考えます。

気仙沼市版アプローチカリキュラム【平成30年度作成】

市内の公立・私立の幼児教育・保育施設の職員が集まり組織した「アプローチカリキュラム作成委員会」によって作成されたアプローチカリキュラムです。平成30年度に作成されました。このモデルがあることにより、各施設はそれぞれの実態に合わせてアプローチカリキュラムを作成することができました。

幼保小接続期カリキュラム（気仙沼モデル）

アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム
<<保育所・幼稚園>> < 幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿 >		<<小学校>>
<ul style="list-style-type: none"> ●自分のやりたいことに向かって心と体を十分に動かし、自ら健康で安全な生活を作り出そうとする ●いろいろな活動や遊びにおいて、自分の力で最後まで取り組み満足感や達成感を持つ ●相手の話を聞いて分かったりじぶんの思いや考えなどを相手に分かるように伝えようとする ●友達とのかかわりを通して心を通わせながら一緒に遊びを進めようとする ●共通の目的をもって話し合ったり役割を分担したりして力をあわせてやりとげようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ◆主体的に学ぶ ◆学習意欲がある ◆コミュニケーション能力がある ◆自分や友達の良さに気付く ◆思いや願いを持つことができる 	
課題 ・食の偏りや生活リズムの乱れなど、基本的な生活習慣が定着しにくい ・難しいことに直面すると、始める前から「できない」とあきらめたり、手伝いを求めることが多い ・友達に自分の思いを言葉で伝えることができる反面、相手の思いを受け入れようせずトラブルになりやすい ・自己中心のな子が多く、相手を認め思いやる気持ちより、責めてしまいがちである ・友達とのかかわりを苦手とし、同年齢の友達より大人とのかかわりを持ちたがる ・少人数により、集団遊びやグループとしての活動が経験しにくい		
育てたい力 （三つの芽生え）	生活する力 <健康な生活> ・好き嫌いをなく、みんなと一緒に食べることが楽しむ ・安全に注意しながら、十分に体を動かす心地よさを味わう <生活への適応> ・生活習慣を身に付け、行動する ・遊んだものや場所をかたづけ <心身の自立> ・時間的見通しをもって生活する ・自分から取り組んだことをやり遂げようとする	生活の自立
	かかわる力 <人とのかかわり> ・友達に思いやりをもって接し、仲良くする ・園内外の様々な人と交流し、親しみをもち <きまりを守る> ・生活や遊びの中で、自分たちのきまりを守ろうとする ・みんなで使う物を譲り合ったり、大事に扱ったりする <言葉で伝え合う> ・友達と一緒に行動し、気持ちを共感する ・自分の思いを相手にわかるように伝え、相手の思いを聞いてわらうとする	精神的な自立
	学びの力 <豊かな体験> ・考えたことを試したり、工夫したりする ・生き物への愛着を感じ、生命をたいせつにする <豊かな表現> ・わからないことや知りたいことを聞いて理解する ・自分の考えやイメージをかいたり、作ったり、歌ったりして表現する <文字、数への感覚> ・絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わう ・遊びの中で数や量を比べたり、多様な形に興味をもったりする	学びの自立

育てたい力をもとにしたアプローチカリキュラム

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	スタートカリキュラム	
ねらい	テーマ	みんな力をあわせる		友達と共通の目的をもって活動する		小学校の生活や学習に興味をもち就学への期待を高める		自分の成長を感じる		入学期の不安を和らげる		
	子どもの姿	友達と協力する 達成感を味わう		役割と責任をもつ めあてを共有する 小学校生活を知識		友達と工夫して遊ぶ 相手の話をよく聞き自分の考えを伝えきる 決まった特別に服装・態度		生活や遊びに意欲的に取り組む 学校訪問や体験を通して期待をもつ		園や所に来て遊ぶ 学校の話をする		
環境構成・援助	健康 生活適応 心身自立	・のびのびと体を動かす心地よさを味わえながら、安全に対する意識を高める ・体験を通して様々な食材に興味をもてるようにする ・自分で衣服の調節や身支度ができるようにする		・健康の大切さがわかり、手洗いがいを運んで行えるようになる ・使った物や場所を整える心地よさを感じ、自主的に片付けしやすくなる ・時間を見通し、見通しをもって生活できるようにする		・健康の大切さがわかり、手洗いがいを運んで行えるようになる ・地域の人との交流の機会を設ける ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする		・これまでの生活を振り返り、様々な人に感謝の気持ちをもてるようにする ・遊びや生活の中で、ルールやきまりに気付かせ守ろうとする気持ちをたもたせる ・自分の思いを相手に伝えられるようにする		・一定時間内で食事ができるようになる		
	かかわる力 きまり 伝える力	・友達の良さを認め、一緒に活動する喜びを味わえるようにする ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする		・友達の良さを認め、一緒に活動する喜びを味わえるようにする ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする		・友達の良さを認め、一緒に活動する喜びを味わえるようにする ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする		・友達の良さを認め、一緒に活動する喜びを味わえるようにする ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする		・友達の良さを認め、一緒に活動する喜びを味わえるようにする ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする		
	体験 表現 文字・数	・季節の歌や年齢に合った歌を友達と一緒に歌えるようにする ・好奇心が芽生えるような体験活動を工夫する		・季節の歌や年齢に合った歌を友達と一緒に歌えるようにする ・好奇心が芽生えるような体験活動を工夫する		・季節の歌や年齢に合った歌を友達と一緒に歌えるようにする ・好奇心が芽生えるような体験活動を工夫する		・季節の歌や年齢に合った歌を友達と一緒に歌えるようにする ・好奇心が芽生えるような体験活動を工夫する		・季節の歌や年齢に合った歌を友達と一緒に歌えるようにする ・好奇心が芽生えるような体験活動を工夫する		
幼保連携	保育・学習生活 相互理解	・小学校教員との意見交換会 ・園だより配布（毎月） ・アンケートを実施し入学前の不安をとらえる		・保育者の授業参観と小学校教員の保育参観 ・個人面談、就学時健康診断 一日入学の様子やアンケート結果を小学校に伝える		・給食体験 ・一日入学 ・小学校への引き継ぎ連絡会						
地域・家庭との連携	基本的な生活習慣 保育理解 不安解消	・基本的な生活習慣の定着に向け、家庭との共通理解を図る ・保育内容や行事への取組の様子を園だよりやクラスだより等で伝えていく ・地域の方々に参加したり、地域の方々を行事に招待したりしながら交流し、保育施設を知ってもらう		・基本的な生活習慣の定着に向け、家庭との共通理解を図る ・保育内容や行事への取組の様子を園だよりやクラスだより等で伝えていく ・地域の方々に参加したり、地域の方々を行事に招待したりしながら交流し、保育施設を知ってもらう		・基本的な生活習慣の定着に向け、家庭との共通理解を図る ・保育内容や行事への取組の様子を園だよりやクラスだより等で伝えていく ・地域の方々に参加したり、地域の方々を行事に招待したりしながら交流し、保育施設を知ってもらう		・基本的な生活習慣の定着に向け、家庭との共通理解を図る ・保育内容や行事への取組の様子を園だよりやクラスだより等で伝えていく ・地域の方々に参加したり、地域の方々を行事に招待したりしながら交流し、保育施設を知ってもらう		・基本的な生活習慣の定着に向け、家庭との共通理解を図る ・保育内容や行事への取組の様子を園だよりやクラスだより等で伝えていく ・地域の方々に参加したり、地域の方々を行事に招待したりしながら交流し、保育施設を知ってもらう		
主な活動・行事	ごっこ遊び	お祭りごっこ 運動会ごっこ お店屋さんごっこ		お祭りごっこ 運動会ごっこ お店屋さんごっこ		お祭りごっこ 運動会ごっこ お店屋さんごっこ		お祭りごっこ 運動会ごっこ お店屋さんごっこ		お祭りごっこ 運動会ごっこ お店屋さんごっこ		
	体験活動 栽培活動 見学活動 園行事 訓練	ハロウィンごっこ 発表会ごっこ 郵便ごっこ 収穫体験 児童会まつり 地域世代間交流 地域見学、交流見学 学習発表会 職場訪問 運動会 秋の遠足 避難訓練（毎月、各種災害及び不審者対応等）		ハロウィンごっこ 発表会ごっこ 郵便ごっこ 収穫体験 児童会まつり 地域世代間交流 地域見学、交流見学 学習発表会 職場訪問 運動会 秋の遠足 避難訓練（毎月、各種災害及び不審者対応等）		ハロウィンごっこ 発表会ごっこ 郵便ごっこ 収穫体験 児童会まつり 地域世代間交流 地域見学、交流見学 学習発表会 職場訪問 運動会 秋の遠足 避難訓練（毎月、各種災害及び不審者対応等）		ハロウィンごっこ 発表会ごっこ 郵便ごっこ 収穫体験 児童会まつり 地域世代間交流 地域見学、交流見学 学習発表会 職場訪問 運動会 秋の遠足 避難訓練（毎月、各種災害及び不審者対応等）		ハロウィンごっこ 発表会ごっこ 郵便ごっこ 収穫体験 児童会まつり 地域世代間交流 地域見学、交流見学 学習発表会 職場訪問 運動会 秋の遠足 避難訓練（毎月、各種災害及び不審者対応等）		

小学校のスタートカリキュラムに接続

気仙沼市 架け橋期のカリキュラム（モデル）【令和7年度作成】

「生活する力」「関わる力」「学びの力」という育みたい力をもとに、「体験と遊びを通した学び→幼児期にも小学校就学時にも大切にしたい学び→教科等における学び」の具体的な様子をモデルとしてまとめました。「幼児期にも小学校就学時にも大切にしたい学び」を保育・幼児教育施設でも小学校でも充実させることで、保幼小のより円滑な接続を目指しています。
令和8年度からは、「架け橋期のカリキュラム実践シート」を活用し、実践していきます。

気仙沼市 架け橋期のカリキュラム（モデル）		5 歳 児												1 年 生											
対象	目指す子供の姿	〇主体的に遊びや学びに取り組む子供						〇いろいろな人と楽しみながらかわり、相手を思いやる子供						〇地域の自然や伝統文化のよさを知り、郷土を愛する子供											
ねらい	【4～7月】 「楽しかった」「面白かった」と感じる体験を通して、新たな生活に自ら向きあうことにつながる。	【8～11月】 「楽しかった」「面白かった」と感じる体験を通して、友達と共通の目的に向かって行動し、達成感や達成感を得る。	【12～3月】 「楽しかった」「面白かった」と感じる体験を通して、友達と共通の目的に向かって行動し、達成感や達成感を得る。																						
育みたい力	生活する力、関わる力、学びの力	生活する力						関わる力						学びの力											
生活	〇地域の自然や伝統文化のよさを知り、郷土を愛する子供	〇地域の自然や伝統文化のよさを知り、郷土を愛する子供																							
主体的な遊びや学び	〇主体的に遊びや学びに取り組む子供	〇主体的に遊びや学びに取り組む子供																							
関わり	〇いろいろな人と楽しみながらかわり、相手を思いやる子供	〇いろいろな人と楽しみながらかわり、相手を思いやる子供																							
地域	〇地域の自然や伝統文化のよさを知り、郷土を愛する子供	〇地域の自然や伝統文化のよさを知り、郷土を愛する子供																							
時期	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	5 歳 児												1 年 生											
子どもの交流等	・園児会や地域の行事に参加する。	・園児会や地域の行事に参加する。												・園児会や地域の行事に参加する。											
職員・保護者の関与	・幼稚園・保育園・小学校・地域・保護者・ボランティア	・幼稚園・保育園・小学校・地域・保護者・ボランティア												・幼稚園・保育園・小学校・地域・保護者・ボランティア											

気仙沼市 令和〇年度 架け橋期のカリキュラム実践シート 作成者：〇〇 〇〇 (〇〇幼稚園), 〇〇 〇〇 (〇〇保育所), 〇〇 〇〇 (〇〇小学校)

学年	5 歳 児	小学校 1 年 生	育ってほしい姿
目指す子供の姿	〇主体的に遊びや学びに取り組む子供 〇いろいろな人と楽しみながらかわり、相手を思いやる子供 〇地域の自然や伝統文化のよさを知り、郷土を愛する子供		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
大切にしたい活動等	体験と遊びを通した学び	幼児期にも小学校就学時にも大切にしたい学び	教科等における学び
時期	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
子どもの交流等			
職員・保護者の関与			
育ってほしい姿			
評価振り返り			

地区の幼保小連携担当者会議で幼・保・小の担当者による話し合いを行い、小学校の教育計画の中に幼・保・小連携を位置付けています。

面瀬小学校 幼・保・小連携

目指す児童像	支え合う	アクションプランⅢ	つながり支える「学習環境」
--------	------	-----------	---------------

昨年度からの変更点	・調理場の変更等を踏まえ、昨年度の実施計画を見直した。
-----------	-----------------------------

1 目的

幼稚園・保育所等の幼児と本校児童との交流活動を通して、上級生としての自覚を高めると共に、幼児の実態を把握し、幼児教育から小学校への円滑な接続を図る。

2 方針

幼稚園・保育所等の情報交換、交流等を充実させ、連携強化及び円滑な接続を図る。

3 指導の重点

学びの連続性を踏まえ、意図的・計画的な指導を行う。

4 活動内容

昨年度の実施内容を基にした活動案とする。詳細については、1年生担当が「面瀬地区幼・保・小アプローチ&スタートカリキュラム」により計画し活動をする。

月	主 な 活 動 内 容 (例)
4月	・担当者会議 葦の芽星谷幼稚園、岩月保育所の担当者と情報交換をし、年間交流活動について話し合う。
5月	・「運動会に招待しよう」 4年生が運動会への招待状を書き、葦の芽星谷幼稚園と岩月保育所に届ける。
6月	・「わくわくまちたんけん」2年生の町探検で訪問をする。
10月	・「面瀬フェスティバルに招待しよう」 3年生が面瀬フェスティバルの招待状を作成し、幼稚園・保育所へ届ける。
10月末	・給食試食会（修学旅行、野外活動、親子料理教室等の時に合わせて実施） 5年生が出迎えと見送り、配膳片付けの手伝いをする。 1年生が給食の準備や片付けの仕方を教え、一緒に会食をする。
11月末	・「お祭りに招待しよう」 1年生活科で実施するおまつりへ招待する。
2月	・体験入学、保護者説明会 入学児童保護者説明会の午前中に一日入学を行い、1年生が学校生活のことを教える。 ・新入学児童引き継ぎ

5 その他

- (1) 学区内の岩月保育所、葦の芽星谷幼稚園を中心としながら、一日入学は次年度入学児童がいる市内の幼稚園、保育所等へも案内する。
- (2) 渉外は教務主任が担当する。
- (3) 幼稚園、保育所等へは、幼保小連携活動として「面瀬地区幼・保・小アプローチ&スタートカリキュラム」により、令和2年度は令和2年9月28日に担当者会議をし、年間の交流活動について確認をした。令和3年度は年度初め（1学期中）に担当者会議を設定する予定。
- (4) 幼保小連携担当が双方の参観日に、園児や1年生の様子を参観してもよい。参観日の案内を出す。

気仙沼市面瀬地区幼保小連携「アプローチ&スタートカリキュラム」

「就学に向けた年長児の活動と入学後の1年生の活動」「幼保小の交流活動（児童・幼児）」「幼保小連携（教員）」「研修会」を1枚にまとめることにより、接続期に関わるあらゆる活動の位置付けやつながりをとらえることができます。

面瀬地区幼保小連携「アプローチ&スタートカリキュラム」												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
入学後の1年生の活動	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの整理整頓を自分でする（所持品の始末、着替えなど）【健康】 決断は決められた時間（活動の合間）に行う。【健康】 安全に生活するためのルールを身に付ける。（交通、防災、防犯）【健康】 食べ物と体の関係に興味をもつ。【健康】 食事のマナーを身に付ける。【健康】 ●午睡をする。【健康】 与えられた仕事を責任をもって行う。（当番活動、グループ活動など）【人間関係・言葉】 地域の人々に親しみをもつてかわかる。（①デイサービス・高齢者・小中学生、書画、消防、商店など）【人間関係・環境・言葉】 友達と一緒に活動する中で喜びや楽しみを共有し合う。【人間関係】 日常の生活の中で文字や数量に興味をもつ。（お手紙ごっこ、お店屋さんごっこなど）【環境・人間関係】 運動や時間に合わせてあいさつを身に付ける。（自己紹介など）【言葉・人間関係】 自分の考えや思いを伝える。（言葉・人間関係） 人の話を聞き、理解して行動する。（言葉） 【書画、音楽など】絵本や動画に親しむ。【言葉】 自分でメッセージなどを作ったり、作ったりする。【表現】 日常生活の中で歌や手遊びに親しむ。【表現】 											
	<ul style="list-style-type: none"> ・和式トイレの使い方を体験する。【環境】 ・決められた時間内に食べる。（30分以内） ・午睡を滞らす。 ・友達と協力し遊びや生活をする。 ・相手の気持ちに気が受け止めようとする。 ・経験したことを表現する。 ・友達と気持ちを揃えて表現する。 											
児童	<ul style="list-style-type: none"> 学校のきまり【学】 おもせのはる【生】 学校たんけん①施設あそびのくふう【学】 なんばんめ【算】 よろしくね【国】 こえをとどけよう【国】 えんぴつをつかうときにたしかめよう【国】 かいてみよう【国】 ほんがたくさん【国】 すぎなものいっぱい【国】 うたっておどってなかならう ・絵歌など 1年生を迎える会【児】 											
	<ul style="list-style-type: none"> 運動会【行事】 おもせのはる【生】 学校たんけん②校庭・人公園 みんなにはなそう【国】 きいてつたえよう【国】 クレヨンやパスとなかよえにっこきかこう【国】 たのしいとくしょ【学】 たのしいプール【学】 みんなのかりきめよう【学】 きれいな学校【学】 せんのかんじいれいかんじ たのしいリズムをうたう【音】 											
<p>小学生との活動を喜び、親しみをもつ → 就学への意欲を高める → 小学校の環境（人・もの・こと）に慣れ親しむ</p>												
幼保小の交流活動	<ul style="list-style-type: none"> 9月：行事 面瀬フェスティバルに招待しよう 10月：面瀬フェスティバルを共にしよう【運動】 11月：生活生活科のおまつりに招待しよう 11月：招待状作成（1年） 11月：生活科のおまつりに行こう ・遊び、交流（幼児） 2月：生活体験入塾（午前中） ・1年生が学校生活について紹介する。年長児がその様子を見る。 ★学校施設を案内する。 ★児童参加 引率は保護者 2月：入学説明会（午後） ・学校説明会 ・学用品の購入 ★保護者のみの参加 4月：行事入学式 ・教科書 ・名札 ・電箱 ・ロッカー等 4月：児童会行事 1年生をむかえる会 ・準備（2～5年） ・運営（6年） 6月：生活わくわくまちなげん ・地域の幼児施設への関心及び自己の成長の気持ち（2年） 											
	<ul style="list-style-type: none"> ★「面瀬フェスティバル」事前打合せ 9月（教務部） ★「生活科おまつり」事前打合せ 11月（1年） ★「生活科まちなげん」事前打合せ 6月（2年） 											
幼保小連携	<ul style="list-style-type: none"> ★幼保小連携事業検討会② 9月（教務部、1年、幼児教育担当） ○就学前連携事業について検討 ・面瀬フェスティバル・生活科おまつり ・体験入学 等 ★就学前引継ぎ 2月（教務部、1年、幼児教育担当） ○個別の配慮を要する幼児について ・課題や配慮事項 等 ○就学前連携事業の反省 ★幼保小連携事業検討会① 4月（教務部、1年、幼児教育担当） ○顔合わせ、年間の計画確認 											
	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2回幼保小連携研修会（市教委主催） ◆第1回幼保小連携研修会（市教委主催） 											
研修会												